

## 平成27年黒石市教育委員会第2回定例会会議録

日時及び場所 平成27年2月27日(金) 午前10時 黒石市産業会館3階 会議室

会議出席委員 委員長 村上良子  
1番 阿保淳士(教育長)  
3番 千葉小夜子  
4番 駒井順一

会議欠席委員 2番 津軽承公

### 説明のために出席した者の職氏名

教育部長 奈良岡 和 保  
指導課長 宮崎 晃 一  
学校教育課長 山谷 博文  
社会教育課長 駒井 昭 雄  
文化スポーツ課長 成田 秀 範  
学校教育課総務課長補佐 西塚 啓(書記)

### 会議に付した案件

- 第1 会議録の承認
- 第2 会期の決定
- 第3 会議録署名委員の指名
- 第4 教育長等の報告
- 第5 議案第9号 黒石市学習適応指導教室運営規則の一部改正について
- 第6 議案第10号 黒石市教育委員会と国立大学法人弘前大学大学院医学研究科との連携に関する協定の締結について
- 第7 議案第11号 黒石市教育委員会と国立大学法人弘前大学教育学部との連携に関する協定の締結について
- 第8 議案第12号 平成27年第1回黒石市議会定例会に提出する議案に対する意見について
- 第9 議案第13号 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員に係る懲戒処分等について

### 会議の顛末

開会宣告(午前10時)

#### 第1 会議録の承認

平成27年黒石市教育委員会第1回定例会の会議録については、全員異議なく、原文を承認する。

## 第2 会期の決定

会期については、平成27年2月27日の1日とすることで、委員全員異議なく、決定する。

## 第3 会議録署名委員の指名

村上委員長が「阿保淳士委員」と「千葉小夜子委員」を指名する。

## 第4 教育長等の報告 なし

日程第8は意思形成過程情報、日程第9は人事案件の審議のため、秘密会にしたい旨委員長から発議があり、委員全員異議なく、これを了承する。

## 第5 議案第9号 黒石市学習適応指導教室運営規則の一部改正について

教育部長が資料に基づき説明し、審議に入り、全員異議なく、原案を可決する。

## 第6 議案第10号 黒石市教育委員会と国立大学法人弘前大学大学院医学研究科との連携に関する協定の締結について

教育部長が資料に基づき説明し、審議に入る。

千葉委員 これは医学研究科とのもので、もう一つは教育学部というところで、中身的に、経費の問題がこちらにはなかったり、その他の文言等で、違いが少々見られたりするのですが、詳しいことに関してはこれからということで考えているのでしょうか。

教育部長 はい。教育学部の中では経費が出てきますが、医学研究科との場合は具体的な経費は、今のところ発生する状況が無いことから経費等は計上してございません。ただし、その他細かい点については第5条で必要に応じて別途定めるということで協議していくとなっております。いずれにしても、今まで、実績がなかったものをこれから始めるもので、まずは、大枠の部分での協定書というかたちでございます。

教育長 補足説明ですが、この協定に関しては、南地方の全ての市町村教育委員会が調印いたします。県の方で、先般新聞等にも出されましたが、弘大と県の教育委員会がまず調印して、それを受けて各市町村の教育委員会、西目屋もいれて弘前も入りますが、全て調印して連携を図っていくという段取りになっております。それから、医学研究科との連携に関しては、先般、黒石市が独自に健康都市宣言をして進めています、その事業とも連動していきます。弘大の医学研究科の計画では、来年度は参加小学校との健康学習。弘大附属小と2校なのですが、本市は独自の施策の中で来年度は東英小学校と中郷小学校が当該事業を

進めますし、中学校では、来年度から東英中と六郷中学校がいま、手を挙げて進めていく予定になっております。こういうかたちで本市の健康都市宣言との連動で選考して進めているという経緯もあります。

以上、全員異議なく、原案を可決する。

#### 第7 議案第11号 黒石市教育委員会と国立大学法人弘前大学教育学部との連携に関する協定の締結について

教育部長が資料に基づき説明し、審議に入る。

村上委員長 学生の人数もその時に応じてということですか。

教育部長 そうです。

村上委員長 具体的な人数はわかりますか。

教育部長 実績として、黒石では、約1人から2人くらいです。これが、弘前、黒石、平川だけでそのくらいでしたので、今度、これが7市町村に広がっていくとどのようになっていくのかは少し疑問です。

教育長 今のお話して、今までは学生が学校に主にサポートにきて、子どもたちの勉強の支援をしていたのですが、この趣旨は、学校教育だけでなく、社会教育も含めて様々な形で学生が地域貢献を図っていくというものです。そこで、社会教育課長、文化スポーツ課長も、本市でサポートできるものがないか探っている段階です。

教育部長 黒石市として弘前大学に要望しておりますのは、例えば、社会教育の分野でありますと、子供会の指導や部活動の指導。そうしたものから、広く社会教育、文化スポーツの分野。土曜日の児童館。あと、他の児童の宿題の指導等で手をあげております。

以上、全員異議なく、原案を可決する。

公開審議を終了し、秘密会に移る。

公開審議終了（午前10時20分）

